

令和5年度 第1回地域授業改善協議会<竹田教育事務所管内>

令和5年8月4日(金) 豊後大野市緒方公民館

各小中学校の研究主任、教務主任を対象に「組織的な授業改善」について研修を行いました。校内で組織的に取組を共有することの大切さ等について理解を深めました。



安部 志郎 所長

1回目の学校訪問では、「めあて」と「ふり返し」、「課題」と「まとめ」を適切に設定し、新大分スタンダードに基づく授業を実践されていました。

学力調査については、正答率や標準スコアに一喜一憂するのではなく、詳細な分析を行った上で、授業改善にかかる検証・改善の実施をお願いします。

本協議会で得た新たな知見や工夫などを自校での組織的な授業改善に還元してほしいと思います。

1. 講義



小野 勇一 課長

<本講義のポイント>

1. 授業改善とは

- ・大きな改善や大きな変化は求めていること
- ・学校のみなが、同じ考えて、同じ方向で行うこと
- ・小さな日々の改善を継続して取り組むこと
- ・何から始めるのか→自校の児童生徒の課題の把握

2. 授業改善に効果的な取組

- (1) 調査問題を実際に解いてみる
- (2) 新大分スタンダードを正しく理解する
- (3) 授業を見合う機会は貴重

調査問題に触れることで、「どんな力が求められていて、そのための授業はどうあればよいか」を考えているその時から、皆さんの授業改善は始まっています。



調査問題を解きながら求められる力と授業のあり方について意見交流しました

<本協議会の内容>

1. 講義

テーマ：「組織的な授業改善」 講師：大分県教育庁義務教育課 小野勇一 課長

2. 報告(竹田教育事務所より)

(1) 各種学力調査等について (2) 他市の「組織的な授業改善」に係る取組の紹介

3. 協議

(1) 学力向上プランに係る各校の取組交流 (2) 校内で取り組んでいきたいこと (3) 全体交流

2. 各種学力調査等について他市の「組織的な授業改善」に係る取組の紹介

【各種学力調査について】

1. 当該学年での着実な習得を
学び残し「0」(ゼロ)で次年度につなぐ=教員としての責務
2. 誤答分析をして、子どもの躓きを把握を =授業改善の第一歩
3. 書く力の育成に向けた日常的な取組を

【他市の「組織的な授業改善」に係る取組のポイント】

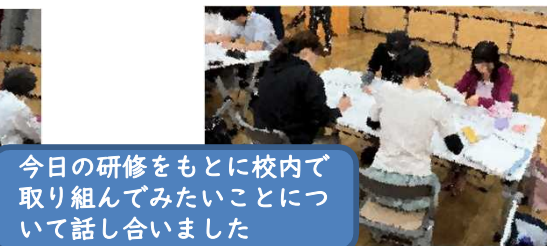
1. テーマと取組を焦点化した
2. 組織的に取組を進めた
3. 子どもたちと一緒に同じゴールを目指した



3. 協議



学力向上に効果のある取組事例について校内研究体制や研修内容を交流しました



今日の研修をもとに校内で取り組んでみたいことについて話し合いました

<参加者の振り返り>

- ・授業改善について改めて大切なことだと認識することができました。今回、調査問題を実際に解き、正答に辿りつくにはどうしたらよいかをグループで協議する活動は、とても有意義でした。授業改善に関わるヒントをたくさん得ることができました。
- ・今日の研修内容を還元し、本校で取り組んでいる互見授業の実施に活かしていきたいと思っています。「学び残し0」で次年度につなぐことが教員としての責務、という言葉が心に残りました。その通りだと思います。このこともみんなで確認し子どもたちの基礎・基本の定着と表現力の育成に力を注ぎたいと思います。